

レポート課題について（科学技術産業政策論）

2017年7月4日 坂田一郎

本講義では試験は行わずレポートを課題とする。この機会に、経済・社会システムに対する理解を深めてもらうことを目的とする。経済・社会を見渡してみると、授業で具体的に取り上げたイノベーション、企業組織等以外の分野でも、大小様々な社会システムが出来上がっていることが分かる。そうしたシステムをよく観察した上で、次の2項目について、論じて欲しい。

1. 社会システムの特定と分析

- ・ テーマとする「社会システム」を一つ選択する（授業の範囲は「科学技術・産業」関連であるが、例えば、環境保護、地域社会、教育など、それ以外の分野を対象としたものでもOK。）
- ・ そのシステムを成り立たせている重要な「諸要素（ファクター）」ピックアップする。法律、税制、慣行・文化、支援制度など。
- ・ 次にシステムを構成する「諸要素（ファクター）」間の関係（相互補完、依存関係等）を考えてみる（全部ではなく代表的なものだけでOK）。

2. 社会システムとその修正提案、提案が妥当と考える理由等

- ・ 当該システムの中で、技術や社会の変化に伴って、修正を迫られている部分はどこか、なぜ修正が必要となっているのか、を特定する。
- ・ システムの修正に関する自分なりの提案を述べる（初歩的なものでOK、結果として経済・社会活動の効率性向上などにつながるもの）。
- ・ その際、講義を参考として当該システム修正の提案を正当化する理由や補完性の観点から注意すべき他のシステムがもしあれば記述する。

（注意点）

- ① レポートの長さは、5,000字程度を目途。2. の提案に全体の半分以上のウエイトを置くこと。
- ② 「AI・IoT」関係を扱う場合、個人で独自の提案を行うこと
- ③ 引用をする場合は必ず出典を明記。他の文献からの長文の引用は不要
- ④ 修士、博士の別で評価を行う。英語によるレポートもOK
- ⑤ 提出期限は、7月18日、授業の最終回の場合
- ⑥ 質問は isakata@ipr-ctr.t.u-tokyo.ac.jp (工学3号館5841-1161) まで